

(様式第2号)

SDGsの達成に向けた重点的な取組み宣言書

作成日: 令和6年6月19日

事業者名: 優ガイドヘルプ

三側面	SDGsの達成に向けた重点的な取組み	関連するSDGsゴール (最大3つ)	実績	指標・目標	
環境	優ガイドヘルプでは、事業において事務処理等のIT化を進める事によりエネルギーの無駄の削減、資源の無駄の削減に取り組んでおります。ITによるペーパーレス化やソフトウェアによる無駄な電力の自動カットなどによって資源・エネルギーの無駄を省き、環境問題に対して取り組んでおります。自社内においても、一部電源を人感センサーを活用した電源自動カットソフトウェアを使用し、不使用時の電源カットによる電気エネルギーの無駄削減による環境へのSDGs活動を行っております。	⑦エネルギーをみんなに そしてクリーンに	2024年3月の事務所電気代金: 8751円 ※電源自動カットソフトウェア導入前 2024年4月の事務所電気代金: 7762円 ※電源自動カットソフトウェア導入後 上記から、約11%の電力エネルギーの無駄削減を実施	指標	電力エネルギーの無駄の削減。
				目標	2030年までに、2024年度比で30%の削減を目標とする。
社会	優ガイドヘルプでは、ガイドヘルパーとして、知的・身体に障害がある方のガイドヘルプ業務を通して、世の中のすべての人が健康的で活動出来る社会の実現に取り組んでいます。一人では外出が困難な方もガイドヘルパーが付き添うことで安心・安全に外出し人間らしい生活をする事ができます。	③すべての人に健康と福祉を	2024年 04月期 事業を通して、月間約8名の方の外出時のガイドを実施。	指標	月間のガイドヘルプ実施の人数
				目標	2030年までに、月平均で12名のガイドヘルプを目標
経済	ワークライフバランスの充実の為に優ガイドヘルプでは、社内規則を作成し、私生活を充実できるように様々な施策に取り組んでおります。特別休暇制度を設ける事で、趣味の時間や家族の時間などを確保する事で仕事への働きがいを促進し、経済成長に繋がる活動となっております。具体的な施策として、特別休暇制度の設定。誕生日の大切な人と過ごせる休息制度の実施。毎月最終金曜日にプレミアムフライデーの実施。	⑧働きがいを経済成長も	2024年4月から、出勤に関する社内規則を変更・記述化し、従業員のテレワーク化と自由な働き方を実現。	指標	従業員の働き方の変更に伴う働きがいの満足度の上昇
				目標	半年に一度の従業員との面談において、ワークライフバランスへの意識と働く意欲に関する項目を追加。5段階の評価(1が最低5が最高)をしてもらい、平均4点以上を目標とする。
ガバナンス	チェック	SDGsの達成に向けた重点的な取組みが従業員に共有されており、かつ達成するための仕組みが組織内に構築されている(PDCAサイクル等)。 <具体的な内容を記載> ■重点項目についてホームページへの記載と従業員への周知を行っております。 ■半年に1度の面談の際に重点項目のSDGs活動についてのヒアリングと意見交換・意識共有を行い、PDCAサイクルを回す仕組みとしています。			
	チェック	SDGsの達成に向けた重点的な取組みをホームページ等で対外的に公表している。 SDGsの取り組みについての特設ホームページ: https://labo-kkstudio.com/u_guide/			